

ルードウィヒ／神々の黄昏（1972）

LUDWIG

メディア 映画

ジャンル ドラマ 伝記

製作国 イタリア／西ドイツ／フランス

色彩 Color

時間 184分

初公開日 1980/11/08

公開情報 東宝東和

【解説】

狂王と呼ばれたバイエルン国王ルードウィヒ二世は、19歳で玉座につき、その美的趣味を国費でもって究めたいけない人。ワグナーのパトロンになって、言われるがままに金を出し、オペラ劇場を作るわ、自分でも三つのお城を建てて、その一つ、リンダーホフ城には地下に人工池造って白鳥のゴンドラうかべてるし……。そんな贅沢三昧そのままに、映画はそれら本物を使ったり、再現して、もう垂涎の絵巻物を繰り広げる。けど、ルードウィヒは寂しいのだ。最愛の従姉エリザベート（R・シュナイダーの白鳥に跨る姿の美しさ！）は人の妻（オーストリア皇后）。その妹ソフィと結婚するはずが、やっぱ諦め切れなくて婚約破棄。以後はただもう、そんな享楽生活に身も心も捧げて歯も腐るほど。親しい人（含む愛人の男たち）みんなに逃げられて、結局“ご乱心”とされ幽閉。暗殺だか自殺だか判らぬ死を迎える。製作会社を倒産に追い込み、自分は卒中に倒れても完成させた大作だが規模だけでなく、その精神の気高さ、深い教養、美への執着において、このような映画は二度と作られまい。これをヴィスコンティは、主演のお稚児さん、H・バーガーを役者として大成させるために作ったってえんだから、侯爵さまのなさることはスケールが違う。彼のドイツ三部作（「地獄に堕ちた勇者ども」「ベニスに死す」）の終幕を飾る作品で、その死後、本作の回想形式をとらない完全版（220分余）がM・マストロヤンニの弟ルッジェロの編集によって作られた。

【クレジット】

| | | | |
|-------|---|--|---|
| 監督 | ルキノ・ヴィスコンティ | Luchino Visconti | |
| 製作 | ディエテール・ガイスラー ウーゴ・サンタルチア | Dieter Geissler Ugo Santalucia | |
| 製作総指揮 | ロバート・ゴードン・エドワーズ | Robert Gordon Edwards | |
| 脚本 | ルキノ・ヴィスコンティ エンリコ・メディオーリ スーゾ・チェッキ・ダミーコ | Luchino Visconti Enrico Mediolli Suso Cecchi d'Amico | |
| 撮影 | アルマンド・ナンヌッツィ | Armando Nannuzzi | |
| 編集 | ルッジェロ・マストロヤンニ | Ruggero Mastroianni | |
| 音楽 | フランコ・マンニーノ | Franco Mannino | |
| 出演 | ヘルムート・バーガー ロミー・シュナイダー トレヴァー・ハワード シルヴァーナ・マンガーノ アドリアーナ・アスティ ソニア・ペトロヴァ ジョン・モルダー＝ブラウン | Helmut Berger Romy Schneider Trevor Howard Silvana Mangano Adriana Asti Sonia Petrova John Moulder-Brown | ルードウィヒ エリザバート ワグナー コジマ プリウスキ ソフィ オットー |

マルク・ポレル
ゲルト・フレーベ
ウンベルト・オルシーニ
ヘルムート・グリーム
ノラ・リッチ
マーク・バーンズ

Marc Porel
Gert Frobe
Umberto Orsini
Helmut Griem
Nora Ricci
Mark Burns

ホーニグ
ホフマン神父
ホルンシュタイン
デュエクハイム